

—飯塚文化連盟合併10周年を迎えて—

飯塚文化連盟会長 大分哲照

年頭に当り、みなさまに新年のご挨拶を申し上げます。

みなさま、ご清祥にて新しい年をお迎えのことと存じます。今年も、飯塚文化連盟加盟団体のみなさま方が、それぞれの分野で文化活動に携わってくださいますようお願いしています。

昨年を振り返ってみますと、第43回飯塚新人音楽コンクールにおいては、声楽部門で北九州市小倉出身の白川憂里亜さんが一位を受賞されました。その親御さんである白川深雪さんも、同コンクール第11回で第1位でした。親子で入賞されるというコンクールの歴史上、初めてのことでした。それだけ長い間、このコンクールがみなさまのご協力のお陰で続いていることを実感しました。厚くお礼を申し上げます。

後期の飯塚総合文化祭も、飯塚、穎田、庄内、穂波の各会場において、催しの部、ステージの部、展示の部等一年の活動の成果を発表していただき、盛会の裡に終わりました。残念ながら筑穂会場は休止でしたが、来年度の実施を願っています。

そのような中、8月には前会長・相談役の紙野美寿江さんがご逝去されました。まだまだお元気にしていただいて、合併10周年記念事業に関してもお尋ねしたいことが多かったのですが、残念でなりません。

このうへは、前会長のご遺志を継ぎ文化活動を推進してゆきたいと思っております。



そして、昨年末は5年ぶりに150名を超える方々にご参加いただき、2024文連パーティーを開催する事が出来ました。日頃お世話になっております地域のみなさま方と、文連加盟団体・会員のみなさまと交歓の集いを開催できましたことを喜んでおります。

さて、今年は旧1市4町の各文化団体組織が、「飯塚文化連盟」として合併し、10周年を迎えます。11月3日(祝)には、記念行事を計画しております。みなさまと一緒に合併10周年を喜びたいと考えています。

みなさまのご協力をいただき、文化連盟の事業を進めてゆきたいと考えておりますので、どうぞよろしく願いいたします。

飯塚文化連盟 顧問・相談役 紙野美寿江氏 令和6年8月27日ご逝去



書家としてまた文連での地域文化振興の両面で長きに渡りご活躍されました。地域文化振興においては飯塚新人音楽コンクールの立ち上げに関わり、40回を超える運営の中心的役割を担い、また旧1市4町の文連の一本化にもご尽力いただきました。

47年間の献身的なご貢献に感謝し、謹んで哀悼の意を表します。

- ・平成24年度 飯塚市市勢振興功労者表彰受賞
- ・令和元年度 福岡県地域文化功労者表彰受賞
- ・令和5年度 文部科学大臣表彰受賞

●研修旅行 ～糸島方面 日帰りコース～ 9月29日(日)



好天にも恵まれ今回のメインの目的地である、筑前^{いと}怡土雷山千如寺大悲王院へ。国指定重要文化財の「木造十一面千手千眼観音立像」をはじめとして、四季折々の美しい自然を体感したひとときであった。その後「伊都菜彩」でのショッピング、「太陽の皿」での昼食、最後は創業明治三年の酒蔵元「杉能舎」を見学して帰路についた。参加者 55 名 楽しく有意義なひとときを過ごすことが出来た。

● I LOVE 遠賀川 10月20日(日)

「愛するふるさとの川を持つ幸せ」をスローガンに、市民一人ひとりが手を取りあって行動を起こそうと始まった遠賀川の清掃活動も 37 回目となった。

去年は雨の為中止となったが、今回は晴天の下、文連からは 19 名の参加があり、飯塚大橋から徳前大橋間 3 km を一般の参加者とともに清掃活動を行った。



●筑前の國いづか街道まつり 10月27日(日)

今回曇り空のなか行われたいづか街道まつりでは、丁度選挙の日と重なり観客は少し少なめではあったが、文連おどり隊は昨年よりも増え 35 名の参加があり、鳳玉会・聖世会・吉竜会・紀雀会・百扇会・素朱会の 6 団体に、地元出身の歌手みず来明姫(みずきあき)さんを招き賑やかなステージとなった。途中雲行きが怪しくなったため、クライマックスの〈ON-DO いづか〉の総おどりは残念ながら中止となった。





第43回飯塚新人音楽コンクール入賞者招待演奏会



2024年11月16日(土) 14時開演
イイヅカコスモスコモン中ホール

♪出演者♪

第43回ピアノ部門	第1位	辰野 翼
第43回ピアノ部門	第2位	大槻夏子
第43回声楽部門	第1位	白川憂里亜
第43回声楽部門	第2位	熊木夕菜



本選での各部門上位2名ずつ4名を迎え開催された。多くの音楽ファンを魅了する素晴らしい演奏会であった。アンコールでは、辰野さんと大槻さんの連弾演奏による「少年時代」白川さんと熊木さんによる「いのちの歌」の歌声には拍手が鳴り止まず、質の高い演奏会を満喫したひとときであった。

2024年 文連パーティー

12月4日(水)パドゥ・ル・コブジ



開会に先立ち、長きにわたり飯塚市の文化発展のために尽力された紙野美寿江前会長に哀悼の意を表し黙祷を捧げた。



武井市長によるご挨拶

大分哲照会長の挨拶、武井政一飯塚市長の開会の挨拶を兼ねた乾杯のご発声で、5年ぶりの文連パーティーは幕開けした。ステージでは今年度新加入した音楽アート PEANUTS のバンドによる楽しい演奏が始まり会場は一瞬で華やかになった。歓談を楽しむ中、カラオケや、としとらーズの合唱が披露され、岩見桜聖さんの歌声による炭坑節と、ON-DO いいつかで総踊りとなり、親睦の大きな輪が師走の夜を飾った。結びは桑原昭佳教育長のおわりの乾杯、芳野英子副会長の閉会挨拶で、冬の宴の一刻は盛会のうちに幕が閉じられた。参加された多くの方々が、久しぶりのパーティーを楽しまれた様子が伺われた。



音楽アート PEANUTS
の皆さん



としとらーズの皆さん



桑原教育長によるおわりの乾杯

第10回 飯塚総合文化祭 — 10月19日(土)~11月17日(日) 〈広げよう・育もう・地域の力・文化の芽〉

合併して10回目を迎えた飯塚総合文化祭は、飯塚、穎田、庄内、穂波の4会場で行われた(筑穂会場は中止)。来年度は合併10周年記念事業もあり文化祭の開催に向けてさらなる盛り上げを期待。後日、文化祭事業部会議が開かれ各会場の問題点や改善点についての議論、並びに決算審議が行われる予定。

飯塚会場 — 10月19日(土)~11月17日(日) 来場者延べ 8,240名

- ・催しの部 (コスモスコモン・コミュニティセンター) 茶道・俳句大会
- ・ステージの部 (コスモスコモン) 合唱・民踊・器楽・和太鼓・演劇・能楽・日舞・
箏曲・洋舞など15団体
- ・展示の部 (コスモスコモン・コミュニティセンター) 絵画・華道・総合(図書館)

イイヅカコスモスコモン・イイヅカコミュニティセンターを会場に、日頃の研鑽集積を発表。ステージ部門に2,840名、展示部門に5,022名、催し部門に378名、合計8,240名の来場者を得て、各団体の創意工夫により無事終了した。

更なる盛り上げを図るべく来場者数の増加を目指し文連としても広報・宣伝を続け、個々のサークルの一層の奮起に期したい。



筑豊フィルハーモニー管弦楽団



綾女会 伊藤社中・藤社中

令和6年度 第57回 飯塚市美術展(市展)

◆◆絵画・写真・彫塑工芸・デザイン部門◆◆

10月23日(水)~10月27日(日) イイヅカコスモスコモン

◆◆書道部門◆◆

10月30日(水)~11月3日(日) イイヅカコスモスコモン

市民の美術活動の育成と振興を図るため開催されている飯塚市美術展は57回を迎えた。本年度は公募80点、高校生4点、賛助会員17点(公募で規定の点数を取得した人)の出品があった。今後も地域の文化的土壌を踏まえて、出品作品の増加に向け、関係団体のご協力をお願いしたい。

穎田会場 —11月3日(日) 来場者数延べ 230名

- ・ステージの部—日舞・民舞・箏曲
コーラス・フラダンス

交流センター別館が改修中の為、小中一貫校穎田校の大アリーナにて開催。会場作りでは穎田校の先生方、生徒の皆さんのご協力をいただいた。



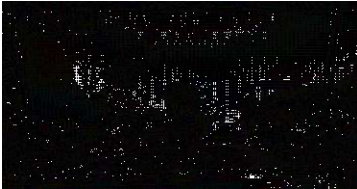
コールカメリアかいた



寿筑会

庄内会場 —11月2日(土)～11月3日(日) 来場者数延べ 561名

陶遊



- ・展示の部 —陶芸・書道・生け花(持帰り好評)
児童・生徒作品・絵手紙・油絵
水彩画・木工・鉄作品
- ・ステージの部—フラダンス・剣詩舞・社交ダンス
庄内中学校吹奏楽部

庄内交流センターハーモニーで開催され、新たな作品の展示物が華を添えて多数の来場者で賑わい、更に充実させ終了した。

穂波会場 —11月9日(土)～11月10日(日) 来場者数延べ 752名

- ・展示の部 —書道・美術同好会・写真・華道(池坊飯塚橋支部、大和池坊)
保育園児作品展
- ・ステージの部—謡曲・日舞・フラダンス・吟詠・カラオケ・ダンス

展示の部では、池坊飯塚橋支部による生け花体験が催され、親子連れなどで賑わいを見せた。

ステージの部では、各団体とも日頃の練習の成果を遺憾なく発揮され、また、商工会女性部によるかしわめし・ポテトフライ・お茶の販売があり、盛会のうちに終えることができた。



レイアロハフラ

施設利用料減免申請手続きの変更について

令和7年度に実施するコミュニティセンター大規模改修工事に伴い、令和6年11月28日から文化課文化振興係の執務室が歴史資料館に移転しました。

減免申請手続きが下記の通り変更になりますのでご注意ください。

期 間	申請場所	手続き完了まで
令和6年11月28日(木)	歴史資料館 文化課執務室	その場で押印返却
～令和7年3月31日(月)	コミュニティセンター窓口	後日押印、一週間以内にコミセン窓口にて返却
令和7年4月1日(火)	歴史資料館 文化課執務室	その場で押印返却
～令和8年3月1日(日)		
令和8年3月2日(月)～	コミュニティセンター窓口	その場で押印返却

問い合わせ先 飯塚市柏の森 959 番地 1 飯塚市歴史資料館研修室
TEL 0948-43-3448(直通) 0948-22-5500 (内線 6465)

